

## 修了評価の方法

評価基準作成者：丸山 弘作

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li></ul></li><li>2 出題形式 四肢択一形式とする。</li><li>3 出題数<ul style="list-style-type: none"><li>・ 択一問題 32 問 (配点 3 点×28 問、配点 4 点×4 問)</li></ul>全問正解：100 点満点</li><li>4 合否判定基準 70 点以上</li><li>5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none"><li>・ 双方合意の日程において、3 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は 70 点以上とする。 補習料：1 時間あたり 3,300 円 再評価料 3,300 円</li><li>・ 再試験を最大 3 回まで実施する。</li></ul></li></ol>
------------	--